

オリジナル船内イベント開催のご案内

講談師・神田伊織

by BEST1
CRUISE

講談とは、演者が高座におかれた釈台と呼ばれる小さな机の前に座り、張り扇でそれを叩いて調子を取りつつ、軍記物や政談など主に歴史にちなんだ読み物を観衆に対して読み上げる日本の伝統芸能のひとつ。

イベントスケジュール

6/20 (木) : 11:30~12:30

6/22 (土) : 11:30~12:30

場所：シアタージョーヴェ (3F)

※デッキ3階前方の扉よりご入場ください。

前の方の席をご希望の方は45分~30分前にお越しください。当日参加も可能です。



(大人18歳以上)

スイート	無料
海側バルコニー	500円
海側客室	1,000円
内側客室	1,500円
お子様 (18未満)	無料

後日開演5日以内のご精算となります。

↓↓お申込み用QRコード↓↓

裏面にお申込み方法のご案内がございます

演目

「三方ヶ原軍記」「源平盛衰記」「太平記」など講談の原点である軍談をはじめとした数多くの古典を継承。一方で、講談の新たな可能性を模索して「レ・ミゼラブル」「銚子電鉄物語」「人でなしの恋」など多様な新作にも取り組んでいる。

ご紹介

神田 伊織 (講談師 講談協会所属 ニツ目)

経歴

幼いころから歴史が好きで、将来は忍者になりたいと願っていたが、忍術修行の厳しさに気づいて挫折。その後、文学青年になり、物書きに憧れたが、特に書きたいこともないと気づいて挫折。

大学ではフランス文学を専攻。一向に就職意欲がわかず、江戸時代の私塾に憧れて在学中に国語専門塾を開業。10年以上にわたって子どもに読み書きを教えながら楽しく暮らしていたが、たまたま足を踏み入れた神田香織の講談教室で講談と出会う。

2016年5月神田香織に入門し、講談協会の前座見習となる。同年8月から前座。6年間の前座修業を経て、2022年9月ニツ目に昇進。

2023年3月には東京都認定のヘブナーアーティストとなり、都内各地で毎月の辻講釈を開始。

失われた古典の復興と独自の新作に積極的に取り組み、講談を現代の身近なエンターテインメントにするために奮闘している。

※HPより抜粋